

おかげさ 議会だより

令和5年2月1日発行

vol.

216

2023

12月
定例会

陣羽織議会で「どうする家康」を盛り上げ
29人の議員が一般質問で登壇！



- P02 一般質問
- P11 主な議案
- P12 委員会審査
- P13 討論
- P14 審議結果
- P16 3月定例会予定 他

更に詳しい情報は
岡崎市議会HPへ



(表紙写真の説明は裏表紙をご覧ください)

一般質問

12月定例会では、29人の議員が市政について質問しました。なお、本紙では、太字の質問項目の概要について掲載しています。より詳しい内容や他の項目については、市議会HPで公開している議会映像をご覧ください。

一般質問の掲載原稿は、発言に基づき質問議員が作成しています。

原紀彦（民政クラブ）

- ・ 困窮者支援
- ・ 地域住民による移動支援
- ・ 蜂須賀 喜久好（自明清風会）

- ・ 復活1万人鍋
- ・ 岩津地域活動拠点整備
- ・ 鈴木 静男（自明清風会）

- ・ 消防団車両
- ・ 林道整備
- ・ 小田 高之（チャレンジ岡崎）

- ・ QURUWA戦略
- ・ 磯部 亮次（自明清風会）
- ・ 観光推進

- ・ 野本 篤（自明清風会）
- ・ 岡崎市南部のまちづくり
- ・ 本市ゆかりの画家「村山槐多」
- ・ 救急医療情報キット

- ・ 三宅 健司（民政クラブ）
- ・ 脱炭素先行地域

- ・ 加藤 嘉哉（民政クラブ）
- ・ 本市の交通渋滞
- ・ ふるさと納税

酒井正一（自明清風会）

- ・ 岡崎開市500年
- ・ アウトレットを核としたまちづくり
- ・ 中学生の遠距離自転車通学

- ・ 前田 麗子（自明清風会）
- ・ 美容による市民の生活衛生
- ・ 大原 昌幸（無所属）

- ・ 阿知和地区工業団地
- ・ 新型コロナウィルスワクチン
- ・ 中小企業支援
- ・ 柳 賢一（無所属）

- ・ 人と動物の共生
- ・ 小木曾 智洋（自明清風会）
- ・ 盛土規制法

- ・ 下水道100周年記念事業
- ・ 三塩 菜摘（無所属）
- ・ コロナや物価高などの社会情勢による市内中小企業への影響と支援
- ・ インバウンド観光

- ・ 原田 範次（自明清風会）
- ・ 水害時の地域防災
- ・ 新型コロナウイルス感染症

- ・ 放課後児童クラブ
- ・ 1級河川鹿乗川の整備
- ・ 近藤 敏浩（チャレンジ岡崎）

- ・ 公園の整備
- ・ 鈴木 雅子（無所属 日本共産党岡崎市議員）
- ・ 生活困窮者の自立支援
- ・ パークPFI事業と乙川河川緑地
- ・ 土谷 直樹（公明党）

- ・ ゼロカーボン・ドライブの取組
- ・ デジタルを活用した新たな観光誘客の取組
- ・ 廣重 敦（自明清風会）

- ・ 岡崎公園周辺の桜
- ・ サテライトオフィス
- ・ 防犯カメラ
- ・ 佐藤 哲朗（民政クラブ）

- ・ 矢作デマンド
- ・ 中根 善明（無所属 日本共産党岡崎市議員）
- ・ 自転車の活用
- ・ 18歳までの医療費無料化
- ・ 農業

- ・ 田口 正夫（無所属）
- ・ 放課後児童クラブ
- ・ 1級河川鹿乗川の整備
- ・ 近藤 敏浩（チャレンジ岡崎）
- ・ 公共交通への転換
- ・ 公園の整備
- ・ 鈴木 雅子（無所属 日本共産党岡崎市議員）
- ・ 生活困窮者の自立支援
- ・ パークPFI事業と乙川河川緑地
- ・ 土谷 直樹（公明党）
- ・ ゼロカーボン・ドライブの取組
- ・ デジタルを活用した新たな観光誘客の取組
- ・ 廣重 敦（自明清風会）
- ・ 岡崎公園周辺の桜
- ・ サテライトオフィス
- ・ 防犯カメラ
- ・ 佐藤 哲朗（民政クラブ）
- ・ 矢作デマンド
- ・ 中根 善明（無所属 日本共産党岡崎市議員）
- ・ 自転車の活用
- ・ 18歳までの医療費無料化
- ・ 農業

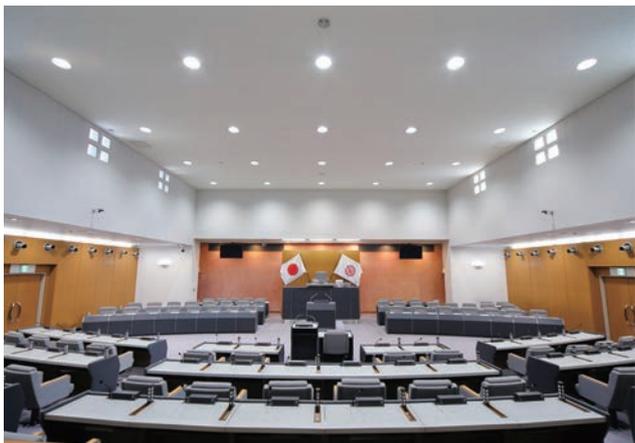
- ・ 畑尻 宣長（公明党）
- ・ 防災
- ・ 成年後見制度
- ・ 野々山 雄一郎（自明清風会）
- ・ 部活動
- ・ 地域と子どものつながり
- ・ 杉山 智騎（チャレンジ岡崎）
- ・ 学校環境
- ・ 野島 さつき（公明党）
- ・ ファミリー・サポート・センター
- ・ HPVワクチン
- ・ 加藤 義幸（自明清風会）
- ・ 保育園・こども園
- ・ バス路線
- ・ 小中学校への防犯カメラの設置状況
- ・ 青山 晃子（チャレンジ岡崎）
- ・ 救命の連鎖
- ・ 犯罪
- ・ 柴田 敏光（民政クラブ）
- ・ 市長の政治姿勢
- ・ 災害廃棄物一時保管用地の上部利用

一般質問とは

・議案とは別に、事務の執行状況や将来の方針など、市政全般についての報告や説明を求め、疑問を問いただすものです。

・岡崎市議会では6、9、12月定例会で行っています。

今定例会では、一般質問を行った全ての議員が一問一答方式により質問しました。



地域住民による
移動支援
原 紀彦 (民政クラブ)

問 北斗台では、地域住民による移動支援の活動が行われている。このような地域の取り組みについて、今後の可能性を問う。

答 高齢化が加速する中での移動手段確保の新しい仕組みとして、国が推進しているグリーンスローモビリティがある。これは、時速20キロ未満で公道を走ることができる4人乗り以上の電気自動車を活用した、環境に優しい小型の移動サービスであり、現在、国が全国10カ所程度でグリーンスローモビリティ活用検討調査を進めている。本市では、この調査を北斗台地区で受け入れて、活用の可能性を探っているところである。今回の調査をきっかけに、既存の公共交通や地域住民による移動支援の取り組みとグリーンスローモビリティを組み合わせた、より利便性の高い新たな移動手段モデルが提唱され、市全域へ展開できるところを大いに期待している。



(1)復活1万人鍋
(2)岩津地域活動拠点施設
蜂須賀 喜久好 (自民清風会)

問 (1)岡崎の八丁味噌文化の発信や、岡崎の農業を推進し盛り上げていくための象徴として1万人鍋を提案するが、見解は。

答 生産農家や関係事業者などが協力し合い、ボランティアも含め市民一体となった1万人鍋が実現できれば、本市を訪れる観光客へのおもてなしになる。令和5年は大河ドラマに伴う観光客も見込まれるため、八丁味噌文化を全国に発信する絶好の機会であり、実現していきたいと考えている。

問 (2)岩津地域活動拠点施設については多機能な拠点が整備されることを期待するが、見解は。

答 現在の支所、市民センター、地域交流センターなど、市民の活動拠点としての機能と、敷地内への警察による治安機能の誘致を検討している。また、地域包括支援センター機能や地域相談窓口など、福祉機能の統合なども今後検討していきたいと考えている。



(1)消防団車両
(2)林道整備
鈴木 静男 (自民清風会)

問 (1)地域の消防団員の利便性が向上する仕様の消防団車両を採用できないか。

答 地域の特性を考慮し、問題点について消防団と検討を行い、多様化する災害や地域の実状に対応するには、状況にあった装備で活動することが効率的であると考えている。特に、山間部においては、チェーンソーや可搬式ウインチなど、倒木により活動障害となった場合に対応できるように資機材を車両に積載できるよう検討していく。

問 (2)現在本市で整備している林道古部夏山線及び林道仏松線について、整備の今後を問う。

答 地形が急峻な場所や地山がとも12年度の開設を目指している。新工法を用いたコスト縮減や補助金確保及び補助制度の拡充を国・県へ要望し、進捗を図っていきたいと考えている。



**乙川リバーフロント
交流拠点の整備費用**
小田 高之 (チャレンジ岡崎)

問 (仮称)乙川リバーフロント交流拠点整備における市の費用負担額が、当初計画の約80億円から4割程度増加する見込みとなったことに対する市の見解は。

答 現在精査中だが、物価の高騰による建設価格や維持管理運営費の増加、市民の意見聴取からまとめたアップグレード項目に対する機能の拡充などのため、市の費用負担額は当初計画の約80億円から4割程度増加する見込みとなった。本事業は、第7次総合計画の総合政策指針における分野別指針の中の「商業と観光が成長産業となる地域経済づくり」の実現が最大の目的であり、そこに意見聴取を踏まえた方向性を追加すること、より市民の満足度の向上につながるかと考えている。国の補助金を活用することで費用の削減に努め、最低限の費用増加で最大の市民満足度につながるような形で整備を実現したいと考えている。



観光推進
磯部 亮次 (自民清風会)

問 令和5年春の桜まつりシーズンに起こる可能性が大きい、大渋滞に対する具体的な対策は。

答 岡崎中央総合公園駐車場から籠田公園付近までのシャトルバスの運行や、愛知環状鉄道を利用したパークアンドライドを3月25日、26日、4月1日、2日の4日間行うよう準備を進めている。

問 渋滞緩和のため岡崎公園やりぶらの駐車場を閉鎖しては。

答 岡崎公園駐車場は、閉鎖までは行わず予約制を導入し、駐車場の空き待ち車両による道路渋滞を軽減したいと考えている。りぶら駐車場は、自家用車でないと来館が困難な人の利用も多いため、閉鎖は難しいと考えている。しかし、渋滞に対する地元の危機感を十分に共有できていなかったのではないかと反省しており、元の生活に問題が生ずることはあってはならないという観点からも、改めて検討を加えていきたい。



**本市ゆかりの洋画家
「村山槐多」の活用**
野本 篤 (自民清風会)

問 岡崎が生んだ天才洋画家である「村山槐多」は、近代美術における本市の代表的な存在であり、所蔵する作品も多数ある。本市の文化振興や市外からの美術愛好家の来訪を増やす観点から、常設展示を検討してはどうか。

答 村山槐多が岡崎生まれであることが確認されたのは10年程前のことで、それ以来、多くの人に知ってもらえるよう取り組んでいる。昨年から美術館で、村山槐多の短くも情熱的に生きた22年の生涯を見てもらえるように複製作品による展示をしている。村山槐多は、没後100年経った今日でも、美術のみでなく、文学の世界においても高い評価を得ている国内屈指の詩人画家と言える。

問 環境省が募集する脱炭素先行地域への第2回の応募状況、採択された件数は。

答 共同提案を含め、全国53の自治体から50件が提案され、本市を含む20件が採択された。

問 本市の取り組み内容は。

答 QURUWAエリア内の戸建住宅やオフィスビルなどに太陽光発電や蓄電池を最大限導入し、電力の自家消費に努める。エリア外では、中央総合公園などに大規模太陽光発電や蓄電池を導入する他、木質バイオマス発電を新たに建設し、岡崎さくら電力を介して再生可能エネルギー電力を供給する一方、その事業収益の一部を子育て支援や空き店舗対策などの地域貢献事業に活用する。また、公用車を電動車両に順次更新し、休日は市民や観光客に貸し出す他、事業者には電動車両や充電設備の導入支援を行うことで、ゼロカーボンドライブを推進していく。



脱炭素先行地域
三宅 健司 (民政クラブ)

問 環境省が募集する脱炭素先行地域への第2回の応募状況、採択された件数は。

答 共同提案を含め、全国53の自治体から50件が提案され、本市を含む20件が採択された。

問 本市の取り組み内容は。

答 QURUWAエリア内の戸建住宅やオフィスビルなどに太陽光発電や蓄電池を最大限導入し、電力の自家消費に努める。エリア外では、中央総合公園などに大規模太陽光発電や蓄電池を導入する他、木質バイオマス発電を新たに建設し、岡崎さくら電力を介して再生可能エネルギー電力を供給する一方、その事業収益の一部を子育て支援や空き店舗対策などの地域貢献事業に活用する。また、公用車を電動車両に順次更新し、休日は市民や観光客に貸し出す他、事業者には電動車両や充電設備の導入支援を行うことで、ゼロカーボンドライブを推進していく。



本市の交通渋滞

加藤 嘉哉 (民政クラブ)

問

市長が公約にも掲げた、市内の交通渋滞の解消に向けた取り組みとして渋滞解消総点検と銘打って対策を進めている内容について、市民や通勤者など多くの道路利用者からどのような情報や意見が出ているのか。

答

渋滞が発生している交差点等について、渋滞の規模や時間帯などの情報提供や、右左折レーン・矢印信号の設置、青信号時間の延長などの信号サイクルの変更といった対応策も含めた意見も多く寄せられている。その情報を基に、現地調査、渋滞状況の確認、渋滞の発生原因などを分析して、現状での右折帯設置などハード整備の可能性や、信号サイクルの見直しなどのソフト対策について、様々な視点から効率的で現実性のある対策案を導き出し、可能な箇所から対策を行っているところである。



(1)岡崎開市500年
(2)中学生の遠距離通学

酒井 正一 (自民清風会)

問

(1)岡崎市史には、1524年に岡崎城下に楽市楽座の高札が立ち、商人の町をつくり始めたとの記載がある。そして、昭和49年11月1日〜24日には、岡崎開市450周年記念行事が大々的に開催された。令和6年に岡崎開市500年を迎えるに当たり、本市の考えは。

答

現在、大河ドラマを契機に、本市を盛り上げる取り組みを行っている。開市500年の節目であり、大河ドラマが終了した後も、商業等の関係機関や地域の商店街等と、各所の取り組み状況等の意見交換を継続していきたい。

問

(2)遠距離を自転車に通学する生徒に対する支援はあるか。

答

片道6キロメートルを超えるような遠距離を自転車に通学している生徒に対して、電動アシスト付き自転車の購入補助などの支援制度を早期に構築していきたいと考えている。



美容による
市民の生活衛生

前田 麗子 (自民清風会)

問

本市の訪問理容サービスは、理容のみとなっている。例えば、介護が必要となった女性で、美容師に依頼したいというようなニーズもあるが、本市は理容のみで美容の参入はできないのか。

答

現状は、理容組合に加盟している店舗に訪問サービスを行っているが、利用者からの美容に関する要望や美容業界からの参入の相談もあることから、今後検討していく。

問

デイサービスの利用中に、訪問理容サービスの助成券を利用して調髪ができれば家族の介護負担の軽減につながると思うが、利用することは可能か。

答

理容師が利用者の自宅へ訪問してサービスを提供することを想定しているが、デイサービスの利用日に調髪ができることで家族の介護負担が軽減されることも考えられることから、検討していきたい。



阿知和地区工業団地

大原 昌幸 (無所属)

問

阿知和地区工業団地の地下に埋まっている廃棄物の撤去は、複数の業者による入札ではなく、造成事業者と特命随意契約をしており、撤去費用として約9億円が掛かる。この約9億円の業務費用の金額が妥当かどうかの判断について見解を問う。

答

撤去費用は、主に掘削、運搬、処分に係る費用で、内訳としては、掘削費が約5500万円、運搬費が約4500万円、処分費が約7億7000万円になる。その他、沈砂池などの仮設費が約1500万円、水質試験費が約900万円、交通誘導費が約800万円になる。処分費については、本市クリーンセンター及び最終処分場は一般廃棄物の処理施設であることから、産業廃棄物の処理は困難であるとの結論に至ったため、複数の見積もりを基に積算を行っている。以上のことから、業務費用は妥当であると判断している。



人と動物との共生
柳賢一（無所属）

問 犬山市では、令和4年12月1日から災害時にペットと同伴避難が可能な避難所が設置された。本市の現状は。

答 本市の避難所では、全ての避難所においてペット同行避難が認められている。同行避難が原則となるが、避難所では同室で過ごすことができないため、クレートなどのペット用品を準備することが不可欠となる。



問 本市におけるセアカゴケグモとヒアリの生息状況は。

答 ヒアリは市内では確認されていない。セアカゴケグモは市内で定着・繁殖しており、特に今年度は通報が相次いだため、市所管施設の一斉点検を実施した。この点検により初めて見つかった施設もあることから、今後とも生息範囲の拡大に注意していく必要があると考えている。



(1)盛土規制法
(2)下水道100周年記念事業
小木曾 智洋（自民清風会）

問 (1)3年7月に熱海市で発生した大規模土石流を契機に、宅地造成等規制法（盛土規制法）が国交省と農水省の共管法として改正されたが、その内容は。

答 土地の用途に関わらず、危険な盛り土を全国一律の基準で包括的に規制するものであり、規制区域内で行われる造成行為については、説明会や定期報告、中間検査などが義務付けられた。更に、土地所有者が常時安全な状態に維持する責務を有することが明確化されるとともに、違反等に対する罰則が強化された。

問 (2)下水道100周年記念事業の主な内容は。

答 記念誌の編纂やパネルキャラバン、啓発動画の作成を計画している。また、記念式典では専門家による記念講演などを計画している。そしてメインイベントとなるのが、中部地方で初となるマンホールサミットの開催である。



(1)コロナ禍の中小企業支援
(2)インバウンド
三塩 菜摘（無所属）

問 (1)オカビズのオンライン相談の実績は。

答 4年度上半期までの相談件数は439件あり、DX化等のIT関連相談が約2割、販路開拓等の経営相談が約8割あった。

問 今後の事業者への支援策は。

答 大河ドラマによって注目が集まり、全国の消費者に本市の商品や店舗を知ってもらおうチャンスである。この機会に、新規顧客の獲得や安定した売り上げの基盤を作っていくことができるよう、DX化の相談など事業者ニーズに沿った支援を行っていきたい。

問 (2)4年10月に水際対策が緩み、訪日外国人人数が増えているが、今後の施策の考えは。

答 愛知県への外国人観光客は、来日5回目以上の人が多いという統計データもある。このようなデータも活用しながら、ターゲットを絞り、本市のインバウンド施策を組み立てていきたい。



水害時の地域防災
原田 範次（自民清風会）

問 高齢者などで情報収集が苦手な人に災害情報を発信する手段をどのように考えているか。

答 地域の自主防災組織等に災害時に情報伝達できる体制の構築を依頼しており、地区防災計画や個別避難計画等の策定に対する支援などを行っている。

問 24時間前の避難を「24時間前のサロン会」として公民館や社務所等に集まる1次避難として、4時間前までには2次避難として水平避難、垂直避難に取り組んでいきたいと思うが、こうした個別避難計画または地域避難について自主防災組織と市で協議は可能か。

答 まず地域の人が集まり、その後集団で避難行動を開始することは、逃げ遅れの対策や自力で広域避難が困難な人の避難を地域で協力し合うための有効な手段であると考えている。必要な支援とともに新たな仕組みづくりも一緒に検討していきたいと考えている。



1級河川鹿乗川の整備

田口 正夫（無所属）

問 1級河川鹿乗川には北本郷支川、赤池支川がある。今後、この支川をどのように整備していくのか。

答 県から鹿乗川上流部の改修計画が示されたことから、市が管理する上流支川についても、本川の進捗に合わせて改修を進めていく考えである。まずは、鹿乗川に対して下流側で合流する北本郷支川の改修を優先的に進めていく。令和5年度以降から、測量・設計を行い、その後、用地買収、工事と順次進めていく予定である。また、上流側の赤池支川については、北本郷支川の改修後に工事着手する予定ではあるが、国道1号や名鉄名古屋本線との交差部の改修は工事の難易度が非常に高く、更に関係機関との協議に多くの時間を要することが想定されるため、北本郷支川と並行して検討業務などを進める予定である。



交通網を整備し
公共交通への転換を図る

近藤 敏浩（チャレンジ岡崎）

問 自動車から公共交通への転換を図るために、移動手段に公共交通を選択していない人の潜在的なニーズを捉え、対応する交通ネットワークを整備することで、新たな利用者を獲得し、収益を向上させる。そうすることで真の意味で誰もが使いやすい公共交通にしていけるかと考えるが、見解は。

答 潜在的なニーズを拾い上げ、公共交通を誰もが使いやすいものにするという考えは本市も同じである。ニーズの把握の手法として、今後の望ましい交通の在り方を検討する基礎資料として活用するため、国や県などが主体となり、4年9～12月の4カ月間で京都市圏パーソントリップ調査を行っている。調査で把握できる「全ての交通手段の動き」「移動と性別や年齢、職業といった個人属性の関係」「人の移動や滞留の状況」といった結果を分析し、公共交通政策の検討に活用していく。



桜城橋の
パークPFI事業の凍結

鈴木 雅子（無所属 日本共産党 岡崎市議団）

問 今後、三菱地所がコンベンションから撤退という結論を出した場合、パークPFIからも撤退するという事なのか。

答 共同企業体の意思が決定前であり、どうするかということとはまだ決まっていない。
問 参画の意思は、パークPFIも一緒に出すと言っている。昨年11月、パークPFIの特定公園施設、橋詰広場のトイレと橋上の店舗の屋根を先駆けて造った時に、なぜ議会や市民へ「三菱地所がパークPFIを凍結している」という説明をしなかったのか。
答 パークPFI事業自体は中止を前提とした中断ではなく、あくまでも事業継続を前提とした中断である。市と共同企業体で締結した覚書にも、本事業の中断期間中でも相互に連携して本事業の活用を推進できると明記されており、双方の意見調整が継続できていたことから、公表は控えた。



(1)ゼロカーボンドライブ
(2)新たなDX観光

土谷 直樹（公明党）

問 (1)本市の次世代自動車購入費補助制度での電動バイクに対する考えは。

答 二輪車においても電動車両への転換を促進することは必要と考えており、制度の見直しを検討していきたいと考えている。
問 本市の補助制度ではリースは対象外だが、今後、対象に含める予定はあるのか。
答 次世代自動車の普及という点では購入に限定する必要はないことから、補助対象について課題整理も含めて検討している。
問 (2)地域の歴史等を、動画やデジタル技術を活用して常設展示することに對する考えは。
答 改装中の岡崎城では、デジタル技術を導入した整備を行っている。また、他の公共施設で地域の歴史等を紹介する動画を流すことは、各施設の用途を考慮した上で、必要性や市民ニーズを踏まえ対応すべきものと考えている。



(1)岡崎公園の桜(2)サテライトオフィス(3)防犯カメラ
廣重 敦 (自民清風会)

問 (1)制約はあるものの、岡崎公園周辺の桜は後世に引き継いでいくべきと考えるが、見解は。

答 樹勢の回復措置の継続や、施設管理者など関係機関への働き掛けや協議を行い、桜の名所を絶やさないように努めたい。

問 (2)サテライトオフィスの活用によって新たに関係を持つ民間事業者と、今後につながるような成果はあったか。

答 入居する企業から災害時でも手軽に栄養補給できる製品の提案があり、現在は担当課を交えてヘルスケア分野での意見交換が進んでいる。

問 (3)街頭防犯カメラのデータを取り出す時間を減らせば、事件の解決が容易になり、市民の安全安心につながると考えるが。

答 迅速な事件の解決と職員の負担軽減を図るために、データのネットワーク化など、今後検討を進めていきたい。



矢作デマンド
佐藤 哲朗 (民政クラブ)

問 令和5年1月に導入する矢作デマンドの基本的な考え方について問う。

答 矢作地域では、駅やバス路線の徒歩圏から外れる不便な地域も多く、「買い物や通院などの足を確保したい」「運転免許の返納後も気軽に掛けたい」といった地域からの要望があった。日常生活を支える公共交通の実現を図るため、本市では地域主体の交通手段の拡充に取り組んでいる。

矢作デマンドは予約型の乗合タクシーとして、公共交通の利用が不便な地域の日常生活を支える交通手段を確保するために導入する。実証運行の開始後は色々な問題点が浮き彫りになると思う。利便性と持続性を両立できるように、利用者的心声を踏まえた運行内容の評価、検証、見直しを検討会議が中心となり、交通事業者と市も連携して、より良い公共交通の実現に向け、本格運行に生かしていきたい。



18歳までの医療費 無料化
中根 善明 (無所属 日本共産党 岡崎市議団)

問 本市では18歳までの入院については無料だが、通院は無料ではない。通院無料を18歳まで引き上げた場合に掛かる費用は。

答 コロナ禍の影響が無かった元年度決算の中学生の実績を参考にとすると、約2億7千万円が必要になると思われる。

問 幸田町では18歳までの通院に関して無料と決定した。本市では何が課題となり、実施しないのか。

答 継続して多額な費用が掛かることや、過度な受診などによる健康保険組合等への影響が懸念されることが、助成対象拡大についての課題である。

問 尾張旭市や津島市で始まり、幸田町も5年1月から開始する。物価対策、子育て支援として本市も導入する考えはないか。

答 現時点では無いが、他の中核市や近隣他市の状況等も注視しながら、研究していきたい。



避難所生活後の 住宅再建
畑尻 宣長 (公明党)

問 倉敷市では、被災高齢者向け住宅再建支援を展開している。住宅金融支援機構と連携して、被災した高齢者が再建する家屋と土地を担保に融資を受けて利息のみを支払い、死亡後に担保を売却して返済する「リバースモーゲージ型融資」の利息を半額補助するもので、本市も同様の支援策を準備すべきと考えるが、見解は。

答 被災者の負担を考慮すると、いかに早期に避難所から仮設住宅へ、更には恒久的な住宅等へ移ることができるかという点は、大変重要な課題であると認識している。倉敷市の支援策は、災害公営住宅等の建設を抑制できる点、高齢者が住み慣れた自分の土地で精神的な負担をより少なく暮らすことができる点で大変参考になるものである。災害後の住居確保については、災害の種類や規模を始めた諸状況を総合的に勘案し、適切な施策を講じたいと考えている。



(1)部活動
(2)地域と子どものつながり
野々山 雄一郎 (自民清風会)

問 (1)令和5年度からの部活動地域移行の内容及び、どういう人材を指導者に考えているか。

答 8年度をめぐりに休日の部活動、学校管理下で行う地域学校部活動に移行する。将来的には、無償または受益者負担が軽い地域ブロック部活動と、相応の受益者負担がある地域スポーツ・文化活動の形態に集約したい。地域ブロック部活動の指導者には、地域のスポーツ団体や文化芸術団体の人材、指導を希望する教員等を想定しており、教師の兼職兼業を認める方向で考えていきたい。

問 (2)国が示す地域学校協働活動について、地域団体がやっている現在の活動との違いは。

答 地域が学校の依頼に応じて支援・協力していた形から、地域と学校が目標やビジョンを共有し、子どもを一緒に育てる形になる。この活動で学校を核とした地域づくりが進められると考える。



校内フリースクール F組
杉山 智騎 (チャレンジ岡崎)

問 長期欠席生徒や、集団での活動に困り感を抱える生徒の確かな居場所となっている、校内フリースクール「F組」の小学校への拡充と、今後の展望は。

答 小学校への拡充は、5年度の市内全中学校への設置後、必要としている大規模小学校へ広げていく考えである。今後の展望としては、各校に設置されたF組運営の更なる質的向上を目指すこと、多様性を受け入れるというF組の理念を学校全体に広めていくこと、他市との連携を通して未来の教育の姿を考えていく契機とすることが挙げられる。また、4年

12月27日には、国立教育政策研究所の総括研究官等が参加する校内フリースクールフォーラムを行う。多様性を受け入れるというF組の理念が、ごく自然な当たり前のこととなり、未来を生きる子どもたちの将来が、明るく、温かいものになることを期待している。



9価HPVワクチン
野島 さつき (公明党)

問 5年4月1日から定期接種とする方針の9価HPVワクチンの効果は。

答 子宮頸がんを引き起こすヒトパピローマウイルスの遺伝子型のうち、9種類の遺伝子型に対して免疫の効果があると認められている。接種を広めることで、より幅広く感染を防ぎ、子宮頸がん及びその前がん病変の罹患率を下げ、更にはその死亡率を下げる

ことが期待できるとされている。

問 定期接種で使用可能になることや、有効性や安全性などの情報は、接種対象者全員に通知が必要と考えるが、周知方法は。

答 新たに接種対象となる中学1年生には、情報を掲載した案内文書を接種券とともに送付予定である。既に送付した人には、市政だよりやホームページでの情報提供を考えている。また、接種する医療機関でも周知できるように、医師会等との協力も検討している。



おむつのサブスクサービス
加藤 義幸 (自民清風会)

問 使用済み紙おむつの一括回収ができるように3年12月定例会で提案したところ、本定例会に債務負担行為として約1260万円が計上された。県内他市ではおむつのサブスクサービスを導入しているところもあるようだが、本市の導入についての考えは。

答 他市の状況を視察した結果、サブスクサービスは保護者が紙おむつに名前を書く必要がなく、なることや、登園時の荷物が減らせるという利点を確認した。この利点を生かすためにも、まずは使用済み紙おむつを園で回収し、廃棄することを実現させた上でサービスを進めたいと考えている。また、現在、公立保育園に通っている0〜2歳園児の保護者を対象におむつに関するアンケートを行っている。保護者のニーズを把握しながら、おむつの廃棄に加えて、5年度中のサブスクサービス導入に向けて準備を進めていく。



AEDの設置状況
青山 晃子（チャレンジ岡崎）

問 24時間使えるAEDを増やすために、コンビニへの設置を進める考えは。

答 24時間利用できる箇所にAEDを設置することは、利用機会が増すことから有効な手段であり、今後も引き続き推進していきたいと考えているが、コンビニへの設置は、財政的な措置などの課題もある。当面は、既にAEDが設置された施設に対して、24時間利用ができる配置方法への転換など、利便性の向上に向けた呼び掛けをしていきたいと考えている。

問 AEDの設置基準について、設置時の案内と設置後の確認はしているか。

答 設置場所の相談時には、ガイドラインを示し、対応している。設置後の確認は、市公施設では毎年実態調査を実施している。適正な管理に加え、分かりやすいサインの掲示や設置場所など、緊急時を想定した改善に努める。



災害廃棄物一時保管用地の上部利用
柴田 敏光（民政クラブ）

問 災害廃棄物一時保管用地の上部利用についての見解は。

答 災害廃棄物一時保管用地は、旧一般廃棄物最終処分場であるため、原則掘削はできない。また、発災時には速やかに本来の用に供する必要があることから、廃棄物の仮置きに支障となる工作物の設置や常時占有的な利用をすることが困難であるなど、利用形態に一部制約が生じる可能性もある。運動広場としての利用が、有効な策の一つであると考えている。

問 運動広場の利用形態の一つとしてグラウンド・ゴルフ場が考えられるが、見解は。

答 グラウンド・ゴルフは老若男女が楽しめる生涯スポーツであり、需要が多く施設整備の必要性が高いこと、災害廃棄物の仮置き場である用地に工作物を設置するなどの支障を極力来さないことから、グラウンド・ゴルフ場の候補地の一つとして検討している。

市議会ウェブページ

市議会の活動をご覧ください。

詳しくは、岡崎市ウェブサイトのトップページから「市議会」をクリックするか、**岡崎市議会** で検索してください。



主な議案

本会議で提出された議案の説明を受けました。審議結果は、14・15ページに掲載しています。

条例議案

■ **個人情報保護法施行条例の制定**
 ／個人情報保護に関する法律の一部改正により、地方公共団体の個人情報等の取り扱いについて法で全国的な共通ルールが規定されたことに伴い、個人情報保護条例を廃止するとともに、法の施行に関し必要な事項を定める等をする。

■ **特別用途地区内における建築物の制限の緩和に関する条例の制定**
 ／南公園を家族レクリエーション型の公園として再整備するため、南公園の区域を特別用途地区として指定することに伴い、当該地区内における建築物の制限を緩和する。

■ **駐車場条例の一部改正**
 ／多数の者が訪れる催しの際に生じる駐車

車場周辺の交通渋滞の緩和を図るため、混雑が予想される日における予約制駐車場サービスの導入及び需給を踏まえた使用料の額に見直す等をする。

■ **下水道事業の受益者負担金及び分担金に関する条例の一部改正**
 ／受益者負担金及び分担金について、賦課徴収及び徴収猶予の債権管理等を適切に継続していくために、規定の明確化及び整理をする。

その他議案

■ **財産の処分**
 ／東名高速道路（仮称）岡崎阿知和スマートインターチェンジの事業用地として売り払う。

■ **公の施設に係る指定管理者の指定（道の駅藤川宿他2施設）**
 ／道の駅藤川宿、乙川河川緑地（殿橋下流左岸等を除く）、中央緑道（国道1号以北）の指定管理者を指定する。

■ **町の区域の設定**
 ／地理的表示保護制度の見直しを支援するため、八丁町の区域を設定する。

■ **工事請負の契約の変更**
 ／都市計画道路柱町線こ道橋工事の委託契約を変更する。

補正予算議案

■ **一般会計補正予算（第12号）**
 ○ **総務費**
 ／継続契約集合支払特別会計繰出金（庁舎電気・ガス使用料）など約2億1337万円の増

○ **民生費**
 ／障がい者生活支援事業費、高齢者生活支援事業費、子育て世帯生活支援事業費、生活保護費支給事業費など約8億8260万円の増

○ **衛生費**
 ／救急医療体制運営費補助金など約1億2607万円の増

○ **商工費**
 ／大河ドラマ活用委託料など約6867万円の増

○ **土木費**
 ／道路新設改良工事請負費（東奥洞七ツ池線整備事業）、道路整備工事請負費（道路整備事業）など約4億3645万円の増

■ **一般会計補正予算（第13号）**
 ○ **衛生費**
 ／出産・子育て応援事業

費に約3億6044万円の増

■ **継続契約集合支払特別会計補正予算（第2号）**
 ／光熱水費（電気使用料・ガス使用料）など約2億1662万円の増

■ **病院事業会計補正予算（第2号）**
 ／投薬・注射薬品費、診療用材料費、ガス使用料など約7億1057万円の増

令和4年度12月補正予算

(単位:万円)

	補正前	補正額	補正後
一般会計	14,212,119	212,671	14,424,790
特別会計	7,073,246	21,460	7,094,706
企業会計	5,724,775	70,210	5,794,985
合計	27,010,140	304,341	27,314,481

委員会審査

4常任委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。主な内容は次のとおりです。

総務企画委員会

一般会計補正予算（第12号）

総務費

問 戸籍情報システム改修の内容及びその改修による市民のメリットは。

答 戸籍法改正に対応するため、法務省及び全国の市区町村をネットワークで結び、戸籍情報などの連携を行えるように改修する。メリットとしては、本籍のある市区町村の窓口以外では取得できなかった戸籍証明書が本籍地以外の市区町村の窓口でも取得できるようになることや、法改正の施行日以降は戸籍に関する届け出に戸籍証明書の添付が不要となり、本籍地から戸籍証明書を取得する手間や手数料が省けることなどがある。

福祉病院委員会

一般会計補正予算（第12号）

民生費

問 タクシー料金助成利用券について、窓口での交付から郵送による交付へ変更するメリットは。

答 タクシー料金助成利用券は、移動が困難である障がい者の社会参加の促進を目的に交付している。交付方法の変更以外にも自動車税の減免の有無を問わないように要件の緩和を予定しており、障がい者本人が運転する場合や、介護者が運転する場合のいずれにおいても、運転する人の体調や都合等に左右されずに外出機会が確保され、社会参加の促進につながると考えている。また、来庁が不要になることで市民の利便性が向上すること、更に、基礎疾患等を持つ障がい者にとっては非接触対応とすることが感染症予防にもなることなどがメリットであると考えている。

文教経済委員会

町の区域の設定

問 町名変更に至った経緯は。

答 *G I保護制度に本市の八丁味噌協同組合を除く団体が造る八丁味噌が登録されて以来、国

に対し適切な対応をするよう強く要望してきた。八丁味噌協同組合も登録の取り消しを求める審査請求などを行ってきたが棄却されており、このままではG I登録された八丁味噌ではないことを明記しなければその名称が使えなくなる。また、現在の町名の八帖の文字が八丁味噌の八丁とは異なることで問い合わせも多いと聞いている。これらを踏まえ、本市ができる支援を検討する中で、町名を八丁味噌の文字を使用する八丁町に回復すること、八丁味噌の発祥の地が客観的に分かりやすく認識されることや、G I制度で保護する地理的表示と生産地の場所をより明確に一致させることにつながると考え、町名変更の提案に至った。

建設環境委員会

駐車場条例の一部改正

問 予約制駐車場サービスの導入に当たり、広報をどのように行うのか。

答 桜まつり期間中の週末土日の駐車場を予約制にする周知については、市政だより、イベントポスター、チラシ、市のホームページ、岡崎おでかけナビホームページ、大河ドラマ館ホームページ、どうする家康活用ツイッターなどにより、市内外に幅広く周知を図っていく。また、道路へ設置する看板については、情報発信の際に設置場所や表示内容が非常に重要となるため、より効果的な場所を確認した上で、国道1号や248号等の幹線道路に、予約制を導入する公共駐車場の案内などを記載した分かりやすい看板の設置を準備していく。更に、予約制駐車場の入り口付近に交通整理員を配置することによってスムーズに案内できるよう努めていく。

*G I（地理的表示）：特定の産地と品質等の面で結び付きのある農林水産物・食品等の産品の名称

本会議において各委員会審査の委員長報告を受け、各党派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

一般会計補正予算

自民清風会

「美術博物館では、令和5年7月1日からNHK大河ドラマ特別展『どうする家康』を開催する。通常の展覧会経費の倍の費用を見込み、国宝や重要文化財を数多く展示する特別展示である。開館以来の最高入館者数を目指し、素晴らしい展示内容とされたい。また、わんパーク内の遊具である冒険ツリーハウスについて、事故発生の切迫度が高いため、早急に解体・撤去する。大自然の景観によく合

製遊具なども計画されたい」と意見を述べ、賛成した。

民政クラブ

「岡崎市医師会の運営する夜間急病診療所において、新型コロナウイルス感染症の影響から受診者数が大幅に減少し、診療報酬も大きく減収となっている。夜間急病診療所は市民にとって必要不可欠なものであり、事業の継続や圏域の救急医療体制を維持していくことは必要である。受診者数の変動状況に応じた適切な体制について、長期的なスパンで検討をされたい。また、アウトレットモールの開業に向けて、骨格道路となる市道池金本宿線の用地取得のめどが立った。愛知県初の開業となることから注目度も高く、多くの来訪者が見込まれるため、周辺道路の整備は必須となる。事業の進捗を図り、着実な道路整備を進められたい」と意見を述べ、賛成した。

チャレンジ岡崎

「新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、物価高騰の影響を大きく受ける、高校生までの子を

養育する保護者、障がい者・難病患者・高齢者等の経済的負担の軽減を図るため、クオカードを配布する。活用する国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、令和4年度中に利用可能な追加の交付限度額と活用事例が示されており、それに対応したものと

なる。また、所得制限なしでクオカードの配布を行うのは、年度内に全ての支援対象者へ支援が行き渡ることを考慮したものであり、妥当であると考え」と意見を述べ、賛成した。

公明党

「生活困窮者世帯等の学習支援を8会場、定員100人で実施しているが、参加希望者が増えていることから、2会場を追加し、定員を20人増やす。更に、土日の昼間は部活等で参加しづらいといった声を受け、試験的に平日の夜も開催していく。年度当初からのスムーズな運営に努め、子どもたちに寄り添った学習支援とされたい。また、森林活用アドバイザーを登用する。関連する課題に対する助

言や提案をもらうことで、森林整備ビジョンの実現が進むことを期待する」と意見を述べ、賛成した。

無所属・日本共産党岡崎市議団

「保険証へのマイナンバーのひも付けは、医師の間でも7割から8割の反対の声が上がっている。カードリーダーで保険証を読み込める機能を付けた医療機関も一定数あるとはいえ、市民が多く利用する小規模なクリニックでは導入をしていないのが現状である。5年度は国の補助金もないとのことであり、自治体が積極的に取り組む業務ではないと考える。また、議員の期末手当の増額はするべきではない」と意見を述べ、反対した。

無所属・大原昌幸

「コロナ禍における円安や物価高などによって困っている人たちがおり、経済的にも先行きが不透明な中で、本市の財源の使い道として、議員報酬の期末手当を、一般の議員であれば1人当たり年間4万4516円増額することは、市民の理解を得られにくいと考え」と意見を述べ、反対した。

審議結果

12月定例会

件名	採決結果	件名	採決結果	
市長提出議案		市長提出議案		
市108 財産の処分	可決(全員)	市133 令和4年度継続契約集合支払特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)	
市109 公の施設に係る指定管理者の指定(道の駅藤川宿)		市134 令和4年度額田北部診療所特別会計補正予算(第1号)		
市110 町の区域の設定		市135 令和4年度子ども発達医療センター特別会計補正予算(第2号)		
市111 市道路線の廃止		市136 令和4年度病院事業会計補正予算(第2号)		
市112 市道路線の認定		市137 令和4年度水道事業会計補正予算(第2号)		
市113 工事請負に関する契約の変更(都市計画道路柱町線こ道橋工事の委託)		市138 令和4年度下水道事業会計補正予算(第2号)		
市114 公の施設に係る指定管理者の指定(乙川河川緑地(殿橋下流左岸等を除く))		市139 病院事業の設置等に関する条例の一部改正		
市115 公の施設に係る指定管理者の指定(中央緑道(国道1号以北))		市140 水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正		
市116 損害賠償の額を定めること		市141 令和4年度一般会計補正予算(第13号)		
市117 個人情報保護法施行条例の制定		諮2 人権擁護委員の推薦		
市118 情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正		議員提出議案		
市119 職員の給与に関する条例等の一部改正		議9 議会の権限に属する事項中、市長の専決処分事項の変更		可決(全員)
市120 市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部改正		議10 帯状疱疹ワクチンへの助成を求める意見書の提出		
市121 事務分掌条例の一部改正	議11 市議会の個人情報の保護に関する条例の制定	可決(多数)		
市122 特別用途地区内における建築物の制限の緩和に関する条例の制定	※採決結果が可決(多数)の詳細は、議案の賛否一覧表をご覧ください。			
市123 駐車場条例の一部改正	件名			
市124 都市公園条例の一部改正	陳情			
市125 消防団条例の一部改正	陳14 保育士配置基準改善を求める意見書の提出	可決(全員)		
市126 下水道事業の受益者負担金及び分担金に関する条例の一部改正	陳15 不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書の提出			
市127 令和4年度一般会計補正予算(第12号)	陳16 障がい児へのおむつ(日用生活用具費)の支給に関すること			
市128 令和4年度阿知和地区工業団地造成事業特別会計補正予算(第3号)	陳17 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充			
市129 令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	陳18 民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守ること			
市130 令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	※陳情は、市長等の関係機関へ意見を付して送付しています。			
市131 令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)				
市132 令和4年度介護保険特別会計補正予算(第2号)				

3月定例会予定

3月定例会の
請願・陳情提出締め切りは、

2月14日(火)

です。

月	火	水	木	金	土	日
2/27	28 開会、市長提案説明、議案説明	3/1 代表質問	2 代表質問 議案質疑、委員会付託	3 議案検討	4	5
6	7 議案検討	8 建設環境委員会	9 福祉病院委員会	10 文教経済委員会	11	12
13 総務企画委員会	14	15	16	17 議会運営委員会	18	19
20	21	22 委員長報告、質疑、討論、採決、閉会	23	24	25	26

○各会議の開催時刻は午前10時の予定ですが、各常任委員会の開催時刻は午前9時30分の予定です。

3月定例会の日程について

上記の議会日程は予定であり、今後変更する場合があります。

変更する場合は、岡崎市議会HPでお知らせいたします。

傍聴に関するお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、しばらくの間、本会議及び委員会の傍聴はできる限りご遠慮ください。

議会中継は、右の二次元コードからインターネットでご視聴いただけます。

なお、傍聴される際は、マスク着用などの傍聴のルールを守ってください。



請願と陳情

市政について意見があるときは、請願書や陳情書を市議会に提出することができます。

請願は市議会議員の紹介を必要としますが、陳情の場合はその必要がありません。

市議会では、請願については委員会で審査した後、本会議で採択か不採択を決定し、その結論を請願者へ通知します。採択した請願は、必要と認めた場合、関係機関に処理の結果の報告を求めます。

一方、陳情は委員会で意見を述べるだけで本会議に報告した後、関係機関に意見を付して送付します。また、審査結果を陳情者へ通知します。

請願（陳情）書式例

○○○に関する請願書
(陳情書)

令和 年 月 日

(宛先) 岡崎市議会議員
○ ○ ○ ○

住 所
代表者氏名

○○○に関する請願(陳情)

1 要旨 何々であるので
何々してください

2 理由

(請願書のみ)
紹介議員
岡崎市議会議員 氏名



表紙の写真



令和4年度第10回家康公
生誕祭が開催され、12月
24日(土)には、天守閣前
でひきめの矢の実演が行わ
れました。

会派等の連絡先 ☎

自 民 清 風 会	☎23-6390
民 政 ク ラ ブ	☎23-6394
チ ャ レ ン ジ 岡 崎	☎23-6364
公 明 党	☎23-6396
無所属	日 本 共 産 党 ☎23-6397
	無 所 属 ☎23-6524
議 会 事 務 局	☎23-6377

議会の日程、請願・陳情などに関する事項は、議事課
(☎23-6971・FAX23-6538)までお問い合わせください。